

平成27年度 第3回山北町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 平成28年2月25日(木)  
開会：11時00分 閉会：11時50分
- 2 開催場所 山北町役場402会議室
- 3 出席者(敬称略)
  - (1) 委員 6名  
山北町長 湯川 裕司  
山北町教育委員会委員長 小林 亘  
山北町教育委員会委員長職務代理者 岡部 達也  
山北町教育委員会委員 瀬戸 安美  
山北町教育委員会委員 瀬戸 陽子  
山北町教育委員会教育長 石田 浩二
  - (2) 事務局 2名  
政策秘書課長 瀬戸 靖  
政策秘書課主幹 和田 薫
- 4 傍聴者 0名
- 5 開会 政策秘書課長
- 6 あいさつ  
湯川町長及び小林教育委員長のあいさつ(内容は省略)

## 7 議題

(1) 山北町教育大綱（案）について

湯川町長

それでは、議題(1) 山北町教育大綱（案）について、事務局より説明をお願いします。

政策秘書課長

資料1により説明。

湯川町長

ただいま事務局から完成した「山北町教育大綱」について、説明がありました。前回の会議においては、委員の皆様からいただいたご意見について、どのように大綱に反映するのか、細かいご議論いただき、修正を加えたところがあります。

その後、事務局から説明があったように、インクルーシブについての文言の修正が一か所あったようでございます。これについて、委員の皆様も既にご承知の話だと思しますので、ご異論は無いと思いますが、いかがでしょうか。

石田教育長

インクルーシブ教育の文言の追加に関連しまして、定例教育委員会において、山北町教育委員会管理運営規則を一部改正を行い、連携型中高一貫教育として、山北町と県立足柄高校と連携を深めるということがありますので、規則を改正し、「神奈川県立足柄高等学校における教育との一貫性に配慮した教育を施すものとする。」という文言を付け加えました。

瀬戸陽子委員

大綱5ページの中段に「学校図書室の運営」という表記がありますが、「学校図書館」が正しいと思います。

石田教育長

法律では「学校図書館」されているので、「学校図書館」が正しいと思います。

政策秘書課長

「インクルーシブ」の字句の修正と「学校図書室」を「学校図書館」に修正します。

湯川町長

文言等の修正については事務局が行うということでもよろしいでしょうか。

それでは、「山北町教育大綱」については、本日、お示しした内容で、策定されたことを確認いたします。

⇒全員了承

なお、大綱の内容を変更する必要が発生した場合については、この会議を開催の上、協議し、対応してまいります。

それでは、次に議題(2)平成28年度当初予算案の概要について、事務局より説明をお願いします。

政策秘書課長

資料2により説明。

湯川町長

ただいま事務局から、「平成28年度当初予算案の概要」について説明がありました。町といたしましては、平成28年度当初予算については、この内容で来月の町議会に提案してまいります。ただいまの説明に対するご質問など、ございましたら発言をお願いいたします。

小林委員長

子どもを育てるということは、とても幅広く行うべきもので、教育委員会においても生涯学習から学校教育までありますが、例えば、英語補助教員については、学校が統合されても前年と同じ2名を配置していただいておりますが、これは非常にうれしいことで、ありがたいことです。

これは、定住促進や子育て支援という側面からも考慮していただいているとは思いますが、今後も教育委員会から、学力向上のための施策や予算の要望を出していくと思いますが、こういった先見性があり、広い視野をもった予算計上をお願いします。

湯川町長

私の基本的な考えは、まず、かつて山北町は鉄道のまちと言われ、600名近くの鉄道員がいて、町は大いに賑わっていましたが、その後、東海道本線へ移っていった後は、その賑わいはなくなりましたが、現在は、観光立町として年間約160万人の方々が訪れております。

しかし、急激に進む人口減少などに対応するため、私は、企業誘致等を積極的に行い、丸山地区には榊トヤマが進出し、平山工業団地にも1社進出する方向に進んでします。

こういった企業の従業員の方々をはじめ、山北町内に定住していただくため

には、今まではどちらかというと生活の利便性が優先されてきましたが、これからは、やはり教育や子育てではないかと考えております。

私としましては、まず、幼稚園・保育園の園児の体力が落ちているということが気になるところで、今年度にボルタリング設備を岸幼稚園に設置いたしました。まだ、これだけでは不十分ですが、園児の体力の向上を図りたいと考えております。

また、来年度には認定こども園の整備を行い、子育てしやすい環境作りに努めてまいります。

さらに教育環境の向上を目指して、順次、中学校にエアコンを設置しておりますが、その他にトイレの改修やタブレット端末の導入なども検討していかなければならないと考えております。

このように様々なことにより教育環境を良くしていき、定住促進を図り、子育て、教育、生涯学習とつながるようにと考えております。

そして、このような考えに沿った形で教育大綱を作成し、予算編成をさせていただきます。

まだまだ不十分なところもございますが、教育の取組みにつきましては最重要課題として進めてまいりますので、是非皆さんにもご理解いただければと思っております。

石田教育長

資料2の8～9ページの一般会計における教育費の占める割合ですが、やはり教育委員会としましては気になるところで、来年度予算につきまして、教育費は前年度比較マイナス1.2%となっておりますが、これは、認定こども園の整備に係る幼稚園の改修工事費が民生費に算入しているため、実質的にはマイナスではないことを確認の意味で申し上げます。

湯川町長

ありがとうございます。やはり教育というものは様々な分野に及ぶものですので、ご理解いただきたいと思っております。

そのほかにも、ご質問はございますか、よろしいでしょうか。特にござ

いませんので、本日の会議の議題は、これですべて終了となりましたので、進行を事務局にお返しします。

## 5 その他

(事務局)

事務局から2点ほど事務連絡をさせていただきます。

まず、1点目ですが、昨年12月8日に開催した、町議会全員協議会において、総合教育会議のこれまでの開催状況と、教育大綱案について説明いたしました。議会からは特に目立った意見はございませんでしたので、本日、完成した大綱を町議会議員にもお配りしたいと考えています。

次に、2点目ですが、町では来年度から組織を一部変更いたします。現在、総合教育会議の事務局については、これまで私ども政策秘書課でありましたが、4月からは政策秘書課と企画財政課の財政部門を除いた部分が統合して、企画政策課という新しい課が設置されます。このため、来年度からは企画政策課が総合教育会議の事務局となりますので、よろしく願いいたします。

## 6 閉会 政策秘書課長

以上